

議会 三より



安曇野市

第44号

発行 安曇野市議会
平成28年11月2日



こくほうじょう
五穀豊穡を願う浦安の舞（豊科・細萱）

平成 27 年度決算を認定 使われたお金は 412 億 8,600 万円	2
子どもへの支援を充実!! ~9月定例会で決まりました~	4
常任委員会審査報告	8
9月定例会市政のここが聴きたい!! 一般質問	11
新総合体育館建設は?議員の定数・報酬・政務活動費は? 市民の意見をお聴きしました	22

人口と世帯 平成 28 年 (2016 年) 10 月 1 日現在 ※ () 内は対前月比

人口 98,226 人(-17) / 男 47,598 人(-32) / 女 50,628 人(+15) / 世帯 38,819 世帯 (+22)

平成 27 年度
決算を認定
(前年比 10 億 9,700 万円減)

使われたお金は **412 億 8,600 万円**

市民
一人あたりにすると
約 42 万円!

平成 28 年 9 月定例会が 8 月 23 日から 9 月 16 日までの 25 日間開催され、平成 27 年度決算を含む議案 33 件と請願 2 件、陳情 8 件が審議されました。その中から、本会議での質疑、討論などを紹介します。

一般会計
おもな使いみち

※各項目は万円未満切り捨て

行政運営や計画のため
総務費

69 億 400 万円



平成 28 年 8 月 1 日 穂高支所がオープン

- ・ふるさと寄附記念品 3 億 9,284 万円
- ・ふるさと寄附基金積立 6 億 2,169 万円
- ・穂高・三郷・堀金支所等整備事業(平成 27 年度分) 12 億 8,989 万円
- ・市制施行 10 周年記念事業 2,656 万円

福祉の充実のため
民生費・衛生費

140 億 8,700 万円

- ・三郷児童館増築事業 1 億 962 万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 7 億 1,727 万円
- ・臨時福祉給付金 1 億 36 万円



道路等の整備のため
土木費

49 億 2,900 万円



- ・除雪用建設機械購入 (8t級、5t級各 1 台) 1,743 万円
- ・道路橋梁維持費 3 億 3,565 万円
- ・穂高駅周辺整備事業(平成 27 年度分) 4,773 万円

農業・林業・水産業のため

農林水産業費 24 億 8,300 万円

- ・国営中信平 2 期地区事業負担金 2 億 5,532 万円
- ・多面的機能活動支援事業 1 億 9,012 万円



地域産業振興や観光事業のため

商工費

22 億 3,400 万円

- ・安曇野しゃくなげの湯整備事業 (平成 27 年度分) 2 億 2,349 万円
- ・安曇野市山岳環境整備基金積立金 1 億 1,988 万円



平成 28 年 10 月 3 日 安曇野しゃくなげの湯がオープン

公共施設の充実などで
借りたお金の返済

公債費
44 億 3,700 万円



教育環境の充実と生涯学習のため

教育費

43 億 9,100 万円

- ・豊科公民館大規模改修工事 (平成 27 年度分) 7 億 5,796 万円
- ・穂高幼稚園大規模改造工事 (平成 27 年度分) 1 億 1,317 万円



その他

議会費・労働費・消防費など

18 億 2,100 万円

- ・議会費 2 億 9,137 万円
- ・デジタル同報系防災行政無線整備事業 5,289 万円
- ・災害対策用備蓄品購入事業 2,642 万円
- ・小型動力ポンプ付積載車 (3 台更新) 2,527 万円



平成 27 年度安曇野市一般会計および特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	42,075,161	41,286,374	788,786

特別会計	同和地区住宅新築資金等貸付事業	943	943	0
	国民健康保険	12,520,906	12,126,436	394,469
	後期高齢者医療	997,810	981,809	16,001
	介護保険	8,474,719	8,434,548	40,171
	下水道事業	4,559,594	4,246,240	313,353
	農業集落排水事業	199,475	187,618	11,856
	上川手山林財産区	4,051	3,468	583
	北の沢山林財産区	868	280	588
	有明山林財産区	1,324	776	547
	富士尾沢山林財産区	1,619	1,041	578
	穂高山林財産区	1,438	847	590
産業団地造成事業	641	295	346	
観光宿泊施設	37,306	37,299	6	

※千円未満は、端数処理をしているため、差引額に相違が生じています。

平成 27 年度一般会計決算の認定に対して

Q & A

市長交際費の増額、流用について

Q 市長交際費の増額、流用は適切ではないので、交際費の使途基準の妥当性も含めて見直すべきではないか。

A 各種団体からの市長出席依頼の内容等を精査しながら、また、近隣市の交際費の支出状況を勘案しながら、今後研究していきたい。

地元企業への発注増加

Q 市はもとと地元企業を活かす方向で、地元企業への発注を増やす必要があるのではないかと。市内業者で扱えるものは、入札を行ってきている。ただし、競争性確保の規定により、指名競争入札になると、5 社以上の指名が必要になり、市内業者が不足の場合は市外業者が参加するケースがある。

モンキードッグ事業について

Q 電気柵との複合対策の一つであるモンキードッグ事業について、事業主体が市なのか地域集落なのかわからないという疑問を管理者は持っている。どう調整していくのか。

消防団員の確保対策について

Q 消防団員の確保について、どのような対策がされているか。

A 現在、消防団では団員確保対策委員会を設置し、実現可能な対策から実施している。市では消防団員への優遇策、待遇改善、装備を含め、今後も取り組んでいきたい。



子どもへの支援を 充実!!

～ 9 月定例会で 決まりました～



主な議案等を紹介します

- ・全議案の審議の結果 → 6 ページ
- ・議案ごとの賛否 → 7 ページ

参照

条例
制定

入学準備金貸付制度が始まります ～11月1日施行～

議案第 76 号 安曇野市入学準備金貸付基金条例

可決

経済的理由により就学が困難な者の保護者に対し、入学に際して必要となる費用のための資金を無利子で貸し付けをすることにより、教育の機会均等を図るとともに有能な人材を育成することを目的として、安曇野市入学準備金貸付制度を創設するものです。基金の原資はふるさと納税による寄附金等です。

入学準備金貸付制度の概要

- ・利用に際して世帯の収入額に一定の基準があります。
- 〈貸付限度額〉
- 国公立の高等学校・高等専門学校 10 万円
- 私立の高等学校・高等専門学校 30 万円
- 国公立の大学・短期大学 40 万円
- 私立の大学・短期大学・専修学校専門課程 60 万円
- ※平成 29 年 4 月 1 日に進学する者から対象とします。
- 応募については教育委員会へお問い合わせください。



条例
制定

幼稚園と保育園の両方の機能を備えた施設へ

議案第 74 号 安曇野市立認定こども園条例

可決

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援法が施行されたことにより、公立保育園 18 園のすべてを平成 29 年 4 月から認定こども園へ移行することになり、それに伴って新たに条例を定めるものです。認定こども園の認定を受けても幼稚園や保育所等はその位置づけは失いません。

条例
改正

公立保育園の認定こども園化に伴う改正

議案第 75 号 安曇野市保育所条例の一部を改正する条例

可決

公立保育園の認定こども園化に伴う所要の改正を行い、児童福祉法に基づく保育所の利用について定めるものです。

人事案件

- ・教育委員会委員に二村美智子さんを任命すること、固定資産評価審査委員会委員に青木完氏さんを選任することに同意した。
- ・人権擁護委員の推薦につき、松尾きく江さんを適任とした。

審議された「請願」と「陳情」

採 択

請願
審議

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持を求めます（請願第 1 号）
- ・国の責任による 35 人学級推進と教育予算の増額を求めます（請願第 2 号）

陳情
審議

- ・ TPP に関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求めます（陳情第 5・6 号）
- ・私立高校に対する公費助成をお願いします（陳情第 7 号）
- 以上 4 件の採択を受け、議員提出議案(3～6号)として意見書を提出
- ・放課後児童クラブ通年利用希望者が全員利用できるような体制づくりを求めます（陳情第 8 号）

平成 28 年度
一般会計補正予算
(第 2 号)

ふるさと納税による寄附金を原資に入学準備金貸付制度

一般会計補正予算では、今議会に条例案とともに提出された「安曇野市入学準備金貸付」、「B 型肝炎ワクチンの定期接種化」に伴う予算等の追加補正が行われました。また、事業費の確定などにより不要額となる予算などを減額補正した結果、補正予算額 4 億円を増額し、補正後の予算額は 432 億 1,000 万円となりました。

クローズアップ
教育

高校・大学等への進学者を対象とする「安曇野市入学準備金貸付制度」のため、入学準備金貸付基金へ 9,722 万 8,000 円を積み立て、入学準備金貸付のために 6,100 万円を予算化しました。

クローズアップ
健康

予防接種法施行令の一部改正により、平成 28 年 10 月 1 日から B 型肝炎ワクチン予防接種が定期化されたため、1,242 万 8,000 円を予算化しました。

平成 28 年度安曇野市特別会計補正予算

(単位：千円)

特別会計	補正額	補正後額
国民健康保険（補正第 1 号）	109,900	12,612,601
後期高齢者医療（補正第 1 号）	15,904	1,048,406
介護保険（補正第 2 号）	31,782	8,921,779
観光宿泊施設（補正第 1 号）	2,430	34,594



賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議：議長（可否同数以外採決に加わらない）

Table with columns for 議案番号, 議員名, 議案名, and 25 columns for individual council members (松枝功, 坂内不二男, etc.).

市民の生命を第一に守るために

「情報伝達手段の考え方と緊急告知機能付き防災ラジオの各戸配布」に関する要望

市議会から市長に要望しました

要望書の概要

- 市民への災害・防災に関する情報伝達の方法は、喫緊の課題として議論を重ねてきた。
●今年5月16日開催の「議会報告会」では、屋外同報系防災行政無線（拡声器）の放送が室内にいと聞きにくいとの意見が多く聞かれた。
●特に高齢者世帯の皆さんは、今まで使用していた防災無線戸別受信機が廃止されたことにより、情報を得るための最も身近な手段が奪われたという認識が生じている。
●全国各地では激甚災害が発生している。特に糸魚川静岡構造線上の本市では、M7.6規模の地震発生率が10.4ポイント上昇し、29.5%と報じられた。
●安全・安心なまちづくりに取り組む本市にとって、市民の生命を第一に守るための均一的な情報伝達手段を速やかに構築する必要がある。
●安曇野市議会は全議員の一致の下、速やかに行政の広報を含む情報伝達手段に対する考え方を明確にし、課題が存在するのであればその解決に真摯に取り組み、一刻も早く緊急告知機能付き防災ラジオの各戸配布を市民の負担の少ない方法で実現するよう要望する。



報告事項

Table with columns for 報告番号, 件名, 結果. Includes items 20-26.

総務・財政

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 77-84.

産業・経済・観光

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 81-96.

健康・福祉

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 74-87.

教育

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes item 76.

建設・水道

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 89-99.

人事

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 100-102.

請願

Table with columns for 請願番号, 件名, 結果. Includes items 1-2.


陳情

Table with columns for 陳情番号, 件名, 結果. Includes items 1-9.

議員提出議案

Table with columns for 議案番号, 件名, 結果. Includes items 3-6.

福祉教育

福祉教育委員会では、9月9日、付託された11件の議案と2件の請願、4件の陳情を審査しました。その中から主な議案等について紹介します。
議案名や本会議での議決結果等 

議案第74号

安曇野市立認定こども園条例

既存の保育所を保育園型の認定こども園とするため、条例を制定した。

賛成多数で可決すべきものと決定

反対の意見

・公的な保育を子どもたちや保護者に保障するのが基本。保護者が直接、認定こども園と契約するという手続きなど複雑になっていく。認定こども園にしていくことで、結果的には保育園の民営化に道を開くものであるため反対する。

賛成の意見

・申請手続が複雑になることはない。市立幼稚園が1園しかない現状から、認定こども園の制度を取り入れていかないと、保育や幼児教育に対するニーズを満たせないという現状があるので賛成する。

議案第76号

安曇野市入学準備金貸付基金条例

安曇野市奨学金基金条例を全部改正し、入学準備金の貸し付けについて、貸付条件などの必要事項を定める条例を制定した。

全員賛成で可決すべきものと決定

問 第8条の貸付条件に連帯保証人を立てるとあるが、これを信用保証協会のような公的機関を使うことはできないか。

答 日本学生支援機構の奨学金には機関保証がつけられることになっているが、全国自治体の奨学金制度や入学準備金制度の例を調べたなかでは、機関保証がついている事例はなかったので、今回は保証人という人的保証の手段によることとした。

意見

県営住宅入居にあたっては連帯保証人制度をやめている。県行政も変わってきているなかで、市としても連帯保証人の必要性についてはぜひ検討してもらいたい。



賛成多数で認定すべきものと決定

議案第83号

平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について

平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について審査した。

全員賛成で採択すべきものと決定

陳情第8号

放課後児童クラブ通年利用希望者が全員利用できるような体制づくりを求める陳情

教育委員会から来年度に向けて場所や予算などの確保を検討していくとの回答があった。


賛成多数で継続審査とすべきものと決定

陳情第9号

安曇野市内義務教育課程児童・生徒の多様な教育機会の確保について

委員会としてさらに認識を深め検討が必要だと判断し、継続審査とした。

総務環境

総務環境委員会では、9月8日、付託された3件の議案と1件の陳情を審査しました。その中から主な議案等について紹介します。
議案名や本会議での議決結果等 

議案第83号

平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について

平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について審査した。

賛成多数で認定審査すべきものと決定

反対の意見

・予算を連結で見ると起債総額が大きく自主財源の確保が財政計画では十分でなく、後年度負担になる。財政計画で示されているのは平成34年度までで、市民にも議会にも説明責任が果たされていない。
・地方債を45億円借りて41億円償還する。差し引き4億円の増加という財政のあり方は健全ではなく、市民のためになっていない。

賛成の意見

・平成27年度の借り入れと償還は差し引き4億円の超過であるが、長期的には市民の福祉向上のため、社会的なインフラの整備のためである。今の時期は借り入れが多く償還が少ない時期である。
・有効な資金を国から受け、施設整備を行っており、健全化指標の上でも表れている。財政のやり繰りなどにおいて適切な方法で行っている。

陳情第1号

緊急事態基本法の早期制定は

緊急事態基本法の早期制定を求める意見書の提出を求める陳情を審査した。

賛成多数で継続審査とすべきものと決定


審査を継続したいとする意見

・災害対策基本法があり、緊急事態の宣言をして使っていけばいいと思う。今までいろいろと検討し、研究してきているが、緊急事態条項についてはさらに研究をする必要があると思ひ、継続審査としたい。
・異常気象のためか、大規模自然災害が考えられる。陳情の内容をもう少し研究すべきではないかと思ひ、継続審査としたい。



9月4日豊科県民グラウンドでの総合防災訓練

経済建設

経済建設委員会では、9月12日、付託された16件の議案と3件の陳情を審査しました。その中から主な議案等について紹介します。
議案名や本会議での議決結果等 

議案第83号
平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について
平成27年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について審査した。

賛成多数で認定すべきものと決定

問 モンキードッグの現状は。

答 定期的に犬が回ることで防護柵の補完になっている。

問 住ま居る(スマイル)応援制度の活用に関する、業者の対応は。

答 利用が特定の業者に片寄ることもあった。できるだけ多くの業者に恩恵があるように当該事業の制度周知を図っている。

問 ハーフマラソンの地域への経済効果は。

答 1人当たり1万数千円の消費額になる。今後農家民泊や小さな宿泊施設にも声がけをしていく。

問 穂高駅前広場周辺整備計画について変更はあったか。また、バスの乗車場所は十分スペースがとれ、安全性は確保できるのか。

答 「銀座の柳」の撤去は再検討となった。場所を移し、維持管理は柳を残してほしいという皆さんを中心に進めたい。駅前がリニューアルした際には時計回りにする。真ん中のスペースにはペンションや旅行会社の送迎車が止められるようにし、観光協会前のバス停は安全を配慮した設計にする。



サルやイノシシを追い払うモンキードッグ



EPSON 第2回 信州安曇野ハーフマラソン HTK



穂高駅のシンボルになっている「銀座の柳」

今年からファミリーランも開催

陳情第5・6号
TPPに関する情報開示の徹底を!

TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情を審査した。

全員賛成で採択すべきものと決定

賛成の意見

・昨年10月にTPP交渉が大筋合意された。国民への理解を得るため議論はされてはいるが、国民は不安を持っており、できる限りの情報開示や十分な説明が必要。また、農業者が将来にわたって希望を持ち、農業を営むことのできる政策が必要。



信誠会
山田 幸与
新総合体育館建設計画
市の財政見通しを懸念



信誠会
竹内 秀太郎
新総合体育館等大規模
事業と市の財政



問 計画策定段階での市民説明会では、財政見通しを危惧する多くの意見に対し明確に答えていない。これでは市民への説明責任とはほど遠い。また、財源減少に対応するため、人件費の削減や物件費の力ツトまでして、建設を進めなければならない理由は一切何なのか。

答 体育館を建設するから行政改革を進めるのではない。常に無駄を省き、コスト意識を持って効率的な予算執行をしていく。

問 今後、激変緩和措置により交付税歳入が減る中で、一般財源が増える要素はないのか。歳出を削減する今の時期に、なぜ建設なのか。

答 交付税の減少に備え、財政運営における問題は、大変大切であると考えている。

問 償還がピーク時の平成32年以降、財政は硬直化し、柔軟性が失われる状態となるが、それでいいのか。

答 財政運営においても経常経費の削減が求められている。十分な検討を行っていききたい。



安曇野の子ども達に最適な保育を

問 11月には基本計画をまとめ、説明を行うというが、肝心な維持管理費(8千万円位を想定)が未だに示されていないのはなぜか。

答 具体的に面積や規模が決まらないので、しばらく検討猶予期間を。

保育園の民営化に併せ統廃合を

問 園の統廃合により、適正規模の保育園に改善するべきと考えるが。

答 保育園の統廃合の必要性を認識している。園児数の将来予測をしながら、民営化と同時に進めていくのがベターと考え、さっそく検討を始めた。

問 新総合体育館・穂高クリーンセンター等大規模事業を計画通り進めた時、市の一般会計の市債残高(借入金)はどうなるか。また、借入金の返済に必要な財源は問題なく確保できるか。

答 市債残高は平成27年度42.1億円で、平成32年度の48.0億円をピークに平成34年度(43.4億円)以降減少していく。返済財源については平成34年度以降交付税措置の割合が増えることから、一般財源(自主財源)の割合は減少していくと想定している。

問 実質公債費比率と将来負担比率は今後どう推移し、総務省の早期健全化基準と比較して健全化の範囲内にあるか。

答 実質公債費比率は平成34年度の12.3%をピークに減少していき、早期健全化基準の半分以下で健全財政の範囲内である。将来負担比率も平成34年度に向けて一時的に増加傾向をたどるが、実質公債費比率と同様に早期健全化基準を大

【その他の質問事項】
○区等自治会への支援策
○地域おこし協力隊の活用策

防災ラジオの整備について

問 大規模災害時に備える「緊急告知機能付き防災ラジオ」の整備において、高齢者や弱者には手厚い補助率の設定を要請する。

答 希望する市民が市の補助金を活用して購入するための補助額や補助率等の制度設計は、今後検討することとしている。



市が検討している「緊急告知機能付き防災ラジオ」

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



民心・無所属の会
増田 望三郎

大規模体育館建設計画 の見直し・修正を



問 新総合体育館建設計画で市が示す施設面積は8450㎡、整備費用は38億円。多額の費用がかかる大規模施設の建設は本当に必要か。規模の見直しはあり得るのか。

答 予定している市民説明会やパブリックコメントを参考に、規模および機能を検討していく。予算との兼ね合いもある。11月頃、基本計画案の策定に向けて見直しの結論を出していく。

問 公共施設再配置計画の観点から、大きな体育館を建てて拠点化を進めることは、地域の身近な施設が廃止になるという認識でよいか。

答 市民の利便性を考慮しながら、規模の縮小を将来にわたって継続的に検討していく必要がある。

問 大規模体育館建設計画は本当に財政的に大丈夫なのか。その根拠は。

答 合併特例債を財源にすれば、7割が普通交付税で措置され、税等の負担を抑えられる。一時的に実質公債費比率や将来負担比率は上がるが、平成33年度以降は下がって



新総合体育館建設が公園敷地外に？

いく。持続可能な財政運営は可能である。

問 オリンピック需要と重なる建設資材の高騰など社会的変化に対応できる慎重な計画であるべきでは。

答 当然だ。特例債が使えない計画であれば、断念せざるを得ない。

問 市の広報に維持費や財政計画等の説明も含めた内容の基本計画案を載せるのか。

答 一定の数字が出ると思うので、それらも含めて掲載する。

【その他の質問事項】
○北小倉ごみ処理施設問題から見える安曇野市行政のあり方



政和会
内川 集雄

「安曇野ふるさと寄附」 本当に大丈夫か



問 市の産業活性化や雇用確保、農業などの就労者拡大と自主財源確保を訴え、安曇野ふるさと寄附の質問をしてきた。ふるさと寄附は平成27年度実績で4439件、7億4852万2212円となったが、総務省が換金性の高い返礼品を贈らないよう求めており、心配する。市長はどのように捉えているか。

答 全てメイドイン安曇野であり、市内で生産された物。地域経済や産業活性化、雇用確保につながり、安曇野市を全国に発信し、国が進める地方創生の趣旨に沿っている。ふるさと寄附確保に努め、活力ある地域づくりを目指す。

問 安曇野ふるさと寄附の収支結果はどうか。

答 3億5051万円の黒字になった。工業、商業、農業それぞれの産業分野で活性化、販路拡大、雇用創出の効果を上げていると考える。

問 平成26年9月、平成27年12月の質問で、企業からの安曇野ふるさと寄附の検討を要望した。本年度税



ふるさと寄附返礼品のフルーツ(堀金岩原)

制改正で地方創生応援税制が改正されたが、どのように検討したのかお聞きする。

答 企業版ふるさと納税導入に向け、政策経営課が窓口となり、関係部署と協議を進め、制度設計の概要が固まり次第報告する。

【その他の質問事項】
○一億総活躍社会に向けての施策「同一労働同一賃金」について
○安曇野の中山間地域農業を担う高齢者農作業事故について



民心・無所属の会
林 孝彦

介護と福祉のまち・ 安曇野の推進を



問 推進の目標と取り組みは。

答 地域包括ケアシステムを構築する。

問 特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護施設の新設や充実のための支援を提案するが。

答 平成29年度に地域密着型の特別養護老人ホームを1か所整備する。入所待機者の解消に努める。

問 複数の特別養護老人ホームと介護老人保健施設に入所申し込みをするための安曇野市共通様式の改善、市民への周知、介護保険課の窓口対応の向上を提案するが。

答 改善を進める。地域包括支援センターとともに介護保険課の窓口で詳しく対応し、施設の窓口にも配置する。リーフレット等を作成する。

問 認知症カフェ、通称オレンジカフェへの支援強化を提案するが。

答 開設経費の助成をしている。ネットワーク構築の支援をする。運営面の支援は今後検討していく。

多文化共生のまち・安曇野の推進を

問 促進を提案するが。

答 平成29年度策定予定の第3次男女共同参画計画の多文化共生施策を充実させる。

問 安曇野市多文化共生推進計画の策定を再度提案するが。

答 第3次男女共同参画計画を進める中で策定期間を判断する。

問 外国籍児童などへの小学校、中学校での日本語学習と、外国籍市民などへのボランティアによる日本語教室での日本語学習の支援強化を提案するが。

答 小中学校には必要な支援をし、教室にはスタッフの交流の場や受講者の発表の機会などを検討する。



楽しいオレンジカフェ(豊科成相)



政和会
平林 徳子

防災対策について



問 全職員を対象に7月21日訓練が実施された。課題と今後の対応は。

答 課題は情報伝達手段のメール配信サービスの確実な登録と返信。システムの登録や安否確認の返信の徹底に取り組む。

問 自主防災組織と市の関わり①訓練状況②職員の出席③マニュアル④防災専門官について伺う。

答 ①昨年度71組織で76回実施。②危機管理課職員。地区担当職員は要請による。③見直し、整備を進める。④消防署長経験者を配備。

問 自主防災組織の補助金についての調査の結果は。

答 「資機材が充足していない」78組織。補助制度の見直しを検討。

問 「防災倉庫の設置なし」が34か所ある。無償貸与の考えは。

答 自己資金や補助金により整備している。無償貸与は難しい。

問 家具の転倒防止の補助金を。

答 防災用品の補助制度を検討。

問 小中学校の防災教育状況は。視覚から訴えるポスターの掲示を。

答 避難訓練は年2回から4回実施。小学校は保護者へ引き渡し訓練も実施。理解しやすいポスターを作成し全校に配布する。

問 小中学校の耐震化の進捗率は。

答 4月1日現在構造体100%、屋内運動場のつり天井等落下防止対策は47.06%。平成31年度完了。

問 災害時の備えの特設公衆電話は。

答 指定避難所27か所すべてに設置。

問 熊本地震被災地への職員派遣は。

答 10月に報告会開催。職員が情報を共有し、災害の備えに万全を期す。

【その他の質問事項】
○結婚相談事業について



市の総合防災訓練(土のうづくり)



日本共産党 安曇野市議員 猪狩 久美子

「新しやくなげの湯」の利用は



問 「新しやくなげの湯」の入浴料金は、70歳以上の高齢者と障がい者は450円となっている。穂高老人保健センターの高齢者、障がい者料金150円からすれば3倍だ。わずかな年金暮らしの楽しみとして、気軽に通えない。家族風呂「暖らんの湯」は1時間2000円だが、穂高老人保健センターの福祉風呂の機能も併せ持つとなっている。これら福祉の立場から料金の減免は考えているか何う。

答 70歳以上の高齢者、障がい者には平成29年度から300円の割引入浴券24枚を交付する事業を準備している。「暖らんの湯」の減免については今後検討していく。

放課後児童クラブの充実

問 放課後児童クラブ利用者の平成28年度の目標値は790人だが、平成28年6月1日現在、登録者合計は830人で40人も上回っている。現在、西穂高保育園の年長で長時間保育を希望する人数は20人



安曇野しやくなげの湯

を超えている。来年度ほぼ全員が放課後児童クラブを利用するとなれば、利用できない児童が出てくる。どう解決するかを伺う。

答 今後、学校の空き教室を放課後児童クラブとして活用していく方針を示している。穂高西小学校児童クラブについては、「西穂高会館」を一時的に利用することを考えており、実現に向けて検討していく。

- 児童館の充実
- 投票所の改善



政和会 黒岩 豊彦

旧堀金公民館施設利用のあり方再検討を問う



問 堀金地域審議会、支所等整備検討市民会議等が大変な努力をし、公民館と図書館について講堂部分を残し、その他は取り壊しとの結論を出した。今回方針転換をして建物を残し、市の図書館としていくことだが、市長の考えを聞く。

答 当初計画を一時中断し、文書館整備を前提に活用について精査を指示した。当初予算の議決後だが、活用できる施設であれば長寿命化を図り、財政的にも無駄を省くことを考え有効活用したい。

問 支所等整備計画内容について地域で議論を重ねて導いた意見集約は何だったのか。文書館整備は支所等整備基本計画の時点で検討されるべきであり、有効活用というなら同様の時期に検討されないと、対象となる施設はほとんど取り壊されている。文書館については大変重要な施設だと認識しているが、今日まで関わってきた市民への説明は不可欠だ。もっと早くアクションを起こすべきだったと考



旧堀金公民館

えるが市長の見解を。

答 文書館については市の歴史を後世に伝えていくため、必要不可欠な施設であり、支所等整備計画から1年半程遅れて策定した新市立博物館構想で位置づけられている。この問題は私に責任がある。関係する委員の皆さんを含め10月下旬には市長と語る会があるので、これらを通じて市民にしっかりと説明責任を果たす。

【その他の質問事項】
○依然として減らない特殊詐欺被害から市民を守るべき



信誠会 小松 洋一郎

公共施設再配置計画による総量圧縮について

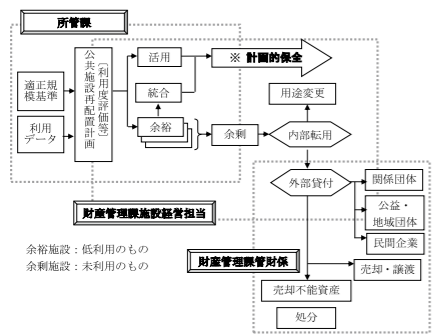


問 再配置計画の保有面積圧縮率32.9%の根拠と、財政計画や市民への具体的な情報提供の進め方は。

答 建築から30年経過で大規模改修、60年経過で建て替えを基本とし、全ての既存施設が耐用年数を迎える60年間として算出した。施設改修費は年間7億円とし、公共施設に特化した10年間の実施計画を毎年作成し、公表していく。

問 学校関係、民間代替可能施設のフライングビュースタイル、ほりでーゆー四季の郷、ピレッジ安曇野、三郷堆肥センターの対応について伺う。

答 小中学校17校のうち6校が建築後40年を経過しており、大規模改修に伴い長寿命化改良工事を推進していく。2つの宿泊施設は平成29年度に民間譲渡する計画だが、国庫補助事業の制約、従業員の雇用問題など調整課題が多く、民営化後のメリット、デメリットを分析し最善の方法を見出す。ピレッジ安曇野は公益性の高い事業のため第3セクターとして存続する。堆



道路・橋梁の維持管理について

問 肥センターは畜産臭気の高減や有機農業の拠点としての役割を果しており、当面は継続する。

問 市道1690km・橋梁766橋の維持管理費用と課題を伺う。

答 舗装は維持管理指数3以下を、橋梁は長寿命化修繕計画により緊急性の高い箇所から対応している。市の財源も厳しくなる中、本当に必要な箇所を厳選し、的確な維持管理に努めていく。交付金を財源とする舗装修繕および橋梁修繕については予算確保に努めていく。



公明党 藤原 陽子

災害に強いまちづくり



問 避難所の多くが学校施設であるが、開設マニュアルについて伺う。

答 校長会が行われ、内容の確認を依頼した。どの部屋まで使用できるのか、職員の運営へのかかわり方等、施設ごとに確認し、マニュアル作成作業を進めていく。時間外の開設が一番の課題である。

問 仮設住宅の確保について伺う。

答 災害救助法が適用されるような大きな災害の場合は、県に対し応急仮設住宅の提供を要請し、必要な建設戸数や、住宅のタイプを県と連携して進める。市として仮設住宅建設候補地とした所は19か所であり、ライフラインの整備が済んでいる所である。5月に発表された千曲川・犀川の浸水想定区域、地域防災計画に掲げるヘリポート等を考慮して選定した。面積は9万9497㎡で、一戸当たり70から100㎡の建設用地が必要となることから、約985戸が想定できる。小中学校のグラウンドを10か所。

問 地震の揺れを感じし、自動的に電

答 気遮断する感震ブレイカーの周知について伺う。

答 通電中の電気器具の上に物が落ちて、火災になるのを防ぐためにも、市として注意喚起を必要がある。設置の際の注意点と合わせて、出前講座や広報で促す。

問 避難施設に電気を供給できる、バッテリーバック内臓の小水力発電の推進について伺う。

答 県との連携により、情報共有をして対応ができるようにしたい。

【その他の質問事項】
○食品ロス削減、およびフードバンクについて



本年度の安曇野市総合防災訓練

※維持管理指数とは…路面状態を総合的に数値化したもの。「5以上」は良好。「3〜5」は補修が必要。「3以下」は早急に補修が必要。



公明党 小松 芳樹

東西の道路整備を進め 現道に愛称を付けては



問 市内東西を結ぶ道路は、渋滞解消だけでなく観光面でも有効で、一日も早い事業化を望むが。

答 早期の事業化を県に対しても要望している。県では、200万円の予算で交通量の推計調査を行っている。その後、事業化に向け整備計画を整理し、地域の皆さんへ丁寧な説明を開始する。

問 興にも効果があると思う。大規模農道（通称農免道路）や本庁舎前の神明通り線など、新たにネーミングをすることで、親しみもわき観光振興にもつながる可能性があるのでは。公募して名称をつけたらどうか提案する。

答 過去には昭和61年標識令の改正を受け、道路愛称を付けた経緯があり、本市には16路線ある。その現状を再確認し、その他の道路も含め、愛称名の制定手続きや標識設置費用等を含めた中で、調査研究していきたい。



政和会 坂内 不二男

コンパクトシティへの 取り組みは



問 立地適正化計画の策定は。

答 地方における人口の減少、少子高齢化社会の本格的な到来が予想されるなかで、薄く幅広く拡散した市街地では生活の利便施設などのサービスが困難になっていくと考えられる。集約型の都市構造の実現のために、改正都市再生特別措置法に基づき、平成28・29年度の2か年で策定する。

問 コンパクトシティは駅中心と聞

くが、市にはJRの駅が11か所あり、どこの駅を中心にするのか。また、豊科駅を中心としたまちづくりと西口開発は。

答 各駅の乗降客数や観光客の利用等の利用実態、新幹線との接続などの特色を踏まえ、各駅それぞれの方針をまとめていく。豊科駅もその一つであり、西口開発も今後合わせて研究する。

平成29年度予算編成に向けて の考え方は

問 市長は、行政のスリム化を1%行

うことで財政に数億円の影響があると云っている。来年度予算編成に向けその方法は。

答 総務部、政策部、財政部が連携し、事務事業評価、政策評価を反映した予算配分を行い、事務事業の改善・改革を図る。お互いコスト意識を持って、前例踏襲型予算から新たな発想の中で行政需要に対応できる機動的な予算編成に努める。また、前年度当初予算を比較対象とした予算から、過去の支出状況などを参考にした決算ベースによる予算編成に移行する。



JR豊科駅



信誠会 明 林

経済活性化を図る 産業振興条例(仮称)とは



問 産業振興は市長を先頭に産学官金

が連携し、「オール安曇野」「チーム安曇野」で取り組むことが重要である。経済活性化に向けた商工業・農業・観光業を一体的に推進するための条例を制定し、どのような安曇野市を目指すのか。

答 恵まれた自然環境の保全と、産業や生活機能がバランスよく配置された魅力的な都市環境の創造に努め、成長と発展する地域を目指す。人口減少に歯止めをかけるためにも、市の保有する資源を最大限に生かして、地域経済の活性化を図りながら雇用につなげ、持続可能な市の発展を目指していきたい。

問 商工業・農業・観光業の施策は。

また、どのような条例になるのか。商業は、創業支援や空き店舗の活用促進で商店街の空洞化を防ぎ、経営の安定化に向けた支援を着実に実行する。工業は、柔軟な支援制度を構築し、既存企業活動の支援や企業誘致に取り組む。また、農工商連携を拡大させることで、

経済効果に繋がりたい。観光業は、農業と連携した農家民泊など、他の分野と連携した観光戦略を検討したい。また、地方創生の交付金を活用して外国人旅行者の誘客を進めたい。条例の骨子案は、各産業別の基本方針や計画の策定、審議会や専門部会の設置などがあげられる。市民などの意見を聴きながらまとめたい。

離婚・別居後の子ども面会 交流支援を

問 市内NPO法人と連携を密に

相談内容により連携していく。



条例が目指す市の将来の姿は

問 国が5月末に公表した新たな犀川

流域の大雨による浸水想定は、過去最高を記録した昭和58年の10号台風の降雨量の2倍を超えるもので、川沿いの広い地域が水没し、壊滅的な被害が予想される。これに備える市の基本的な考えは。

答 想定し得る最大規模の降雨による浸水想定を国が公表したものの。堤防などでは防ぎきれない数値で、今まで安全と言われたところも危険とされた。地域と連携し「命を守る」避難体制を構築していく。

問 浸水想定区域での公共施設設置の

扱いは。

答 基準数値が上がっても、大雨に対しては事前に予測し迅速に避難することが基本。明科南保育園の建設計画も変更は考えていない。

市内産業、経済の振興について

問 人口減少時代でも市の経済活力を持続させるには、国の経済対策などを活用し、あらゆる施策を打つ必要があるが、取り組みの状況は。



新興住宅地に感じる市内経済の力強さ

問 農業分野では、国の産地パワー

アップ事業により、タマネギや大豆、そば生産農家の事業拡大、体質強化支援を進めている。住宅のリフォームや新築を応援する住ま居る応援制度は地域経済への波及効果も高く、平成29年度も実施する計画。平成27年度まで5年間の補助金は3億円を上回る。平成27年度末、債務負担行為で舗装工事を発注した。効果が得られたので引き続き対応していく。国の経済対策については、各部長に国県の関係機関に自ら出向いての情報収集や活用を指示している。



政和会 功 松枝

犀川流域の新たな浸水 想定区域への備えは

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



民心・無所属の会 小林 純子

太陽光発電の事業認定 適切に行われているか



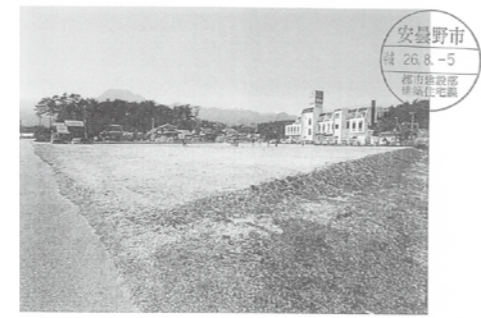
問 穂高・立足地区の太陽光発電施設は住宅団地を控えた田園風景の中に建設されたが、なぜ農地法に触れることなく許可され、また特定開発事業の認定がされたのか。

答 当該農地は平成21年7月にスポーツ施設として農地転用の許可を受け、その後フットサル場として利用されたので転用事業が完了した。その跡地に太陽光発電施設が設置されたので問題ない。

問 フットサル場建設の申請書には、人工芝を敷いて高さ6mのフェンスで囲うとあるが、工事完了の写真にそれらは無く、造成しただけでフットサル場はできていないが。

答 農業委員会では通常現場確認はしない。完了届けの写真により許可権者の県と協議し、用途として主たる目的が達成されていると判断し、事業完了とみなした。

問 建築住宅課では完了検査を怠ったため、今となっては完了・未完了の判断ができない状況である。完了検査をしなかったのは単なる



完成したフットサル場として業者が工事完了届けに添付した写真

事務処理ミスに過失なのか。故意にミスしたことが疑われるが。答 条例に規定された完了検査を行わなかったことは、市民の信頼を損なうことであり遺憾に思う。

M産業・防音壁の安全性と一廃処理業の許可更新について

問 現実的な安全性が確認できていない現時点で、一般廃棄物処理業の許可更新を行ったのはなぜか。

答 廃棄物処理法の許可の要件には合致しており、法律上の安全性は確保されていると認識したため。



信誠会 召田 義人

安心・安全のまちづくり



問 事件・事故を防ぐまちづくりについて聞きたい。

答 特殊詐欺で毎年何億円というお金がだまし取られており、多くの人々が大変つらい思いをしている現状がある。これ以上の被害を出さないようにしっかりと対策に取り組んでいかなければならないと考えている。

問 防犯協会と民生委員の役割と課題について聞きたい。

答 多様化する特殊詐欺の防止対策については、民生委員による啓発活動を実施している。また、防犯協会や市区長会とも連携して、地域の安全・安心を確立することを念頭に組み立てている。また、早い時期に防犯体制を全市統一して、事件・事故のないまちづくりに努力したい。

問 危機管理体制の充実と指揮命令の一本化について聞きたい。

答 昨今、災害のリスクも高まっている中、生命・財産・身体に損害を与えかねない事象が頻発している。通報があれば危機管理課をはじめ所管課で対応しているのが現状。地震の発生確率が高まっている中で緊急の対応、体制の強化、迅速に動ける体制を、現状にプラスすることで検討したい。



元気に通学する子ども

問 生涯学習体制の充実と、子ども達に命の大切さをどのように指導しているのか聞きたい。

答 学校において、道徳や人権教育も含め、教育活動を通じて命の大切さや自尊感情を高める指導と、子ども達の悩みも聞き対応できる体制づくりをしている。



民心・無所属の会 荻原 勝昭

子育て世代に保育料・授業料の経済的支援を



問 子育てのしやすいまちづくりを目指すとして、第2子の保育料の無料化と、大学生の授業料を奨学金で給付する事業に取り組むのはどうか。日本中三割自治体で財政的に厳しいのは同じなので、選択と集中を進めるべきではないか。

答 保育料の第3子無料化は平成27年度から開始している。第2子の保育料は年間2億1700万円と試算され、市単独事業となるため実現は困難な状況であり、国の進めている児童教育の無償化に注視していく。現在保育園・幼稚園を利用していない家庭の第2子以降の子どもに月額3000円を支給している。市教育委員会は高校、大学等へ進学する奨学金として無利子による入学準備金貸付制度を創設する。大学の授業料援助については、財源確保および公平性などに課題があるので、奨学金制度の創設は行わない。国の給付型奨学金創設を見きわめたい。

TPPの国会批准に意思表示を

問 TPP協定の国会批准について、国会決議は対策影響なしとしているが守られていない。薬価による混合診療導入で国民皆保険制度が崩される。ISD条項で主権・人権・食の安全も侵される。農業への影響も大きい。市長の態度表明を求める。

答 TPPのデメリット・国益・住民生活への影響等について、精査しながら県・北信越・全国市長会を通じて意見を述べていく。



穂高保育園運動会

「請願・陳情」はどなたでもできます

市政についての要望や意見等があるときは、だれでも「請願」や「陳情」を提出することができます。

「請願」と「陳情」の違い

市議会議員の紹介があるものを「請願」といい、紹介がないものを「陳情」といいます。「請願」は市民が市などに対し要望や意見を述べることで、憲法で保障された権利です。「陳情」も「請願」と同様に市民の要望や意見を述べることですが、法的な定めはありません。

「請願・陳情」の内容に制限はありません

「請願・陳情」の内容に制限はありませんが、市議会の権限がおよばないものは採択することができず、提出されても実益がないことがあります。

【請願・陳情の例】

- 1 市議会の議決事項に関するもの
- 2 市の行政に関するもの
- 3 市議会を通じて国や県の施策を要望するもの

市議会での取り扱いはこうなります

受理した「請願・陳情」は、議会運営委員会で常任委員会に付託するか協議・決定し、付託された場合は常任委員会で審査し、その報告に基づき、本会議で「採択」「不採択」を決定します。

「請願・陳情」に関する詳細は議会事務局が市議会ホームページへ

「請願・陳情」の「つくり方」「様式」などの詳細は、市議会ホームページに掲載してあります。



※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)

市民の意見をお聴き

しました

市議会は「市民の意見を聴く会」を市役所4階大会議室で8月21日(日)午後1時30分から午後7時からの2回開催しました。出席した合計43人の市民の皆さんから、2つのテーマについて貴重なご意見をいただきました。ご意見の一部を紹介します。

新総合体育館建設についてどう考えますか？

豊科南部総合公園に建設予定の総合体育館（以下「新総合体育館」という）の建設計画については、議会でも安曇野市の大きな課題ととらえ2回の政策討論会議を実施するとともに、現在も福祉教育委員会を中心に調査を重ねています。5月に開催した第3回議会報告会でも新総合体育館に関する多くの質問があり、市民の関心の高さを感ずりました。そこで、教育委員会の新総合体育館に関する市民説明会やマスコミ報道を通じて、市民の皆さんがどのように考えているのかを、市が11月に基本計画(案)を提示する前にお聴きし、議会の持つべき方向性をまとめる参考にしていきたいと考え、今回のテーマにしました。



参加された皆さんから多くのご意見をいただきました

*新総合体育館はどんな体育館？

- ・ 想定施設規模：6,100～8,400㎡相当
- ・ 想定事業費：28～38億円（関連整備を含む）
- ・ 施設：メインアリーナ・サブアリーナ・武道スペース（柔道・剣道）
その他付帯施設（更衣室・会議室）など
- ・ 観客席：2階固定席（1,000席）
1階アリーナ席（1,500席程度、うち常設可動席600席）
【教育委員会の市民説明会（7月～8月開催）資料から抜粋】

子どもの育成面からの意見

- ・ 将来の子どものために残せる施設なのでつくってほしい。
- ・ 子ども達の個性を伸ばし、スポーツの多様性に対応できるような充実した体育館が必要だと考えている。
- ・ 子どもに目を向けて、子ども達が何を望んでいるかを聞いてから施設整備をしてほしい。

財政面からの意見

- ・ 平成34年度以降の財政が明らかではないので、合併特例債の返済期間である20年間は大丈夫だという財政計画を示してほしい。
- ・ 合併特例債といっても国の借金で、いずれ私たちにまわってくるので安易に使ってほしくない。
- ・ 人件費が明らかにされていない中、経費も膨らむのではないかと不安を感じる。身の丈に合う施設建設であってほしい。
- ・ 償還も含め将来の費用がクリアできるならば、市の活性化の要因になるような大規模な体育館をつくってほしい。
- ・ 少子高齢化による使用者の減少や、ランニングコスト、財政状況を考えるべき。

地域の経済面からの意見

- ・ 体育館建設による経済効果も期待できるような施設を望む。
- ・ 地域と市民の活性化になるような方策を検討してほしい。
- ・ スポーツ合宿もできるような大規模施設なら経済効果もある。

その他の意見

- ・ 公式スポーツ施設整備計画検討委員会は利害関係者が多いので、開催期間や時間を考慮して仕事のある人も公募で委員になれるようにしてほしい。
- ・ 体育館建設についての話を最近まで全く知らなかった。市民への周知が不足しているのではないかと。
- ・ 議会が市民の声を聞く機会を設けたことは評価したい。

規模や設備についての意見

- ・ 防災機能も含めた施設としてほしい。
- ・ 使う人のターゲットを考え、道路等のアクセスや周辺の活性化など総合的な戦略を考えるべき。
- ・ なぜ国体基準でなくてはならないのか。南社会体育館の建て替えなら大規模でなくてもよい。
- ・ 2階の観客席の構造なども含めて、見る人向けの建物をつくるべき。
- ・ 建物の規模も大事だが、最低でも1,000台程度の駐車場を整備してほしい。
- ・ 豊科地域審議会では建て替えを答申している。現在の南社会体育館では小さいので、新しく建ててほしい。
- ・ 市民のスポーツのための小さな体育館なら、それには賛成する。

どうする？ 議員の定数・報酬・政務活動費

市議会の10年を1つの節目として、これからの市議会は、年代等のバランスのとれた市議会を目指した議会改革が必要であると考え、現在、議会改革推進委員会において「議員定数、議員報酬、政務活動費」の三者を包含した見直しについて検討しています。そこで、これらの個別事項について市民の皆さんのご意見をお伺いし、議会改革の参考にしたいと思い今回のテーマにしました。

*安曇野市議会の現状

議員定数：25人（平成25年10月の選挙から28人を25人に変更）
議員報酬：議長459,000円/月 副議長383,000円/月
議員360,000円/月
政務活動費：1人当たり90,000円/年（7,500円/月）



議員定数

- ・ 議会費の総額を増やさないために、議員報酬を上げ、それに見合う定数に減らしてはどうか。
- ・ 委員会構成をみると各委員会6人以上は必要なので、大きく定数は減らさなくてもいい。
- ・ 定数は余り減らすと議論などが活発にならないので、平均的な数字の25人でいいと思う。
- ・ 若い人が議員になるためにも議員報酬を上げて、議員の定数を今の3分の2くらいにしてはどうか。

議員報酬

- ・ 議員は市民のためにより政治を行って仕事をするべきで、人がうらやむような年収に上げて、それを目当てとする人には議員になってほしくない。
- ・ 現在の報酬では若い人は立候補しないと思う。年収1,000万円くらいにすればやる気のある人が立候補できると思う。
- ・ 若い議員が増えるような報酬を考えてほしい。

政務活動費

- ・ 議員報酬はそのまま、政務活動費をもっと上げれば調査活動もしてレベルも上がると思う。
- ・ 政務活動費は議員が調査研究するために必要な経費であり、上げていいと思う。
- ・ 月7,500円ではどこにも行かない。しっかりと視察ができるように上げるべき。
- ・ 政務活動費は必要経費であり、それぞれ議員が実際に使っている額をまとめて要求すべきだと思う。



会の主旨を説明する議長

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。皆さんの思いや考えを参考に、議員全員でこれらの重要な問題について話し合いを重ね、これからの議会活動や議会改革に生かしていきます。ここでご紹介した以外のご意見は、市議会ホームページに掲載してありますのでぜひご覧ください。また、これら2つのテーマについてご意見があれば下記までお寄せください。

【ご意見の送り先】

郵送：〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 安曇野市議会事務局
Fax：0263-71-2150 メール：gikai@city.azumino.nagano.jp



QRコードから「市民の意見を聴く会」のページへお入りください

市民の

The Voice



声

防災について地域でできること

市議会

に関する意見・要望・感想などを書いてもらいたいという事で今回ペンをとりました。この度要望したいことは「消防団に新入団員が入団してもらえる仕組みを構築していただきたい」ということです。

私は

農業を営む傍ら安曇野市消防団に所属して、火災や行方不明者の捜索など有事の際は消防団活動に参加させてもらっています。現在安曇野市消防団では団員が不足していて、特定の団員に任務が集中すると同時に、団歴の長い団員が退団することもままならない状態の分団がいくつもあります。このままの状態が続いていくと、人手不足により有事の際に対応ができなくなってしまう地域が増えてくることでしょう。

各分団

では各々勧誘を行ってはいませんが、対象



帯刀 政信さん

(三郷)

者に話すら聞いてもらえないケースがほとんどで、なかなか入団してもらえないのが現状です。各地域には地区ごとに区長や会計など様々な「役員」があつて、特定の人に限られた任期の間勤めてもらっています。有事の際、「地域に住む人達で地域を守る」という考え方が妥当であるというならば、消防団員を地区の役員として選出する方法を検討していただきたいです。

もし

消防団という組織が安曇野市にとって重要であると感じているのであれば、最優先で解決しなければならぬことは団員不足問題であり、問題を解消するための手段の実践だと思えます。施設や装備品の類は最低限の備えで十分です。現場で活動している身として、消防団が動くだけでは団員不足問題は解決できない時代になっていると感じます。

議会傍聴へ ようこそ!

平成 28 年安曇野市議会 **12月定例会は11月24日(木)~12月19日(月)** 頃を予定。皆さんの傍聴をお待ちしています。なお、議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施します!ぜひご覧ください。

請願・陳情の締切は11月14日(月)です。それ以降の提出は次の定例会での審議になりますのでご注意ください。

編集後記



秋風にそよぐコスモス

◆自宅前で孫(2歳)と遊んでいると電車が見えたとき「じじ、カンカンに乗りたい」と言われ、「カンカンに乗ってどこ行くの?」と聞くと「とうきょう」と言われビックリ。同時に議会だより編集のエネルギーが補充できました。

坂内不二男

◆広島カープがリーグ優勝しました。40年以上も親会社を持たず独立採算で運営されてきたのも、市民の熱い思いに支えられ、愛され続けてきたことにあります。人材を発掘し育てていくというカープの方針は、あらゆる分野にも共通して言えることだと思いました。

猪狩久美子

議会広報特別委員会

委員長 竹内秀太郎 委員 坂内不二男 井出 勝正 一志信一郎 藤原 正三
副委員長 林 孝彦 中村今朝子 平林 明 猪狩久美子 小林 純子

議会からのお知らせ

・公職選挙法に基づき議員の寄附行為の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病気見舞い(親族以外)、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附行為をすることは禁止です。

『寄附行為 しない、させない、求めない』

気軽にご意見をお聞かせください

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地
TEL 0263-71-2000 (市役所代表)
TEL 0263-71-2156 (議会事務局)
FAX 0263-71-2150 (議会事務局)

安曇野市議会だより 第44号

平成28年11月2日発行

http://www.city.azumino.nagano.jp/site/gikai/
E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社安曇印刷

280 古紙配合率80%
再生紙を使用しています。

